

<b>事業名称</b>	<b>離島部における大工等「職人向けワーケーション事業」づくり</b>
事業主体名	特定非営利活動法人五島空き家マッチング研究所
連携先	五島市、長崎県、国立大学法人九州工業大学
対象地域	長崎県五島市
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>島内の職人不足を解決策としての、大工等の職人に特化したワーケーションの事業モデルの構築</li> <li>新たな職人育成や技術交流の場とした研修先として、独自の職人研修プログラムのプランニング</li> </ul>
事業の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワーケーションを糸口に、空き家利活用の現場において、島内事業者が慢性的に抱える職人不足問題という地域課題の解決を、当団体と行政機関、島内民間事業者が協力して行う取り組み</li> <li>ワーケーションを通じた工事受発注の関係のみならず、島内と島外事業者の職人育成や技術交流の場としての可能性の模索</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>連携先の島外事業者の掘り起こし（10社と交渉し5件の工事案件発生）</li> <li>島内での滞在先や各協力会社等の情報集約し、島外事業者へ提供する体制づくり</li> <li>工事現場以外でも島内外事業者の交流が図れる場づくりの提供</li> <li>島外職人に対して、普段（島外）と島内（五島）双方の仕事及び生活環境に関する満足度のアンケート調査及び補足的なヒアリング調査の報告書作成</li> <li>職人研修プログラム案の提案</li> </ul>
成果の公表方法	当団体のホームページで公表
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>島外事業者とのネットワークを引き続き広げていく交渉に加え、実際工事が発生した場合の島内での工事サポート体制づくり</li> <li>中長期滞在型宿泊先及び賃貸物件の安定的な確保可能な体制の整備</li> <li>島外職人の島内への参入促進と島内ワーケーションの高付加価値化 <ul style="list-style-type: none"> <li>仕事の確実性を高める現場関係者との関係づくりや、生活利便施設の充実や情報提供が求められる。</li> </ul> </li> <li>職人研修プログラムの具体的な立案および実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>島内外の事業者の関係構築を促し、島内での新技術普及のみならず島外からの現場参入を図る。</li> </ul> </li> </ul>

## 1. 事業の背景と目的

今回の事業を通じて解決する課題は、島内の職人不足である。五島市において、2021年度の空き家バンク登録数は91件と過去最高を記録し、当該団体の活動も合わせて、空き家の掘り起こしや空き家の利活用の数は年々増加傾向にある。しかし、空き家の利活用の際に必要な改修工事が、島内の大工や左官をはじめとする職人不足により、工期が遅延することが多々あり、顧客への納期を明確にすることさえ困難な状況になっている。特に大工は、改修工事で主要な役割を果たし、DIYによる改修工事でさえサポーター役として不可欠な存在であるが、五島市のような離島部においては、台風等の自然災害も多く、災害復旧工事の対応に大工のほとんどが手間を取られており、さらに問題が深刻化している現状にある。

この課題に対して本事業は、コロナ感染拡大前から主にIT関連のワーケーション事業を強く推進している五島市、長崎県と連携して、大工等の職人に特化したワーケーションの事業モデルを構築することで、次年度の

本格的な事業化への足掛かりとすることを目的とする。さらに、次年度以降の発展事業を見据えて、もう一歩踏み出し、ワーケーションによる職人の受け入れのみならず、五島市の改修工事現場を新たな職人育成や技術交流の場とした研修先として、独自の職人研修プログラムのプランニングを行う。

## 2. 事業の内容

### (1) 事業の概要と手順

本事業の具体的な取組内容については、

- ① 職人向けワーケーションの連携候補となる島外事業者へのアプローチ
- ② 職人向けワーケーションの受け入れに関する島内調整
- ③ 職人向けワーケーションモデル事業の実施
- ④ 職人研修プログラムのプランニング

となっている。本事業の全体構成としては、図2-1-1の通りとなる。当団体が仲介役となり、島外事業者と島内事業者を繋ぎ、島内での工事現場において、職人向けワーケーションモデル事業の実施、そしてそこからの知見を元に本事業モデルの構築を図るものである。各取組について、具体的な内容は以下の通りとなる。

図2-1-1 事業の全体構成

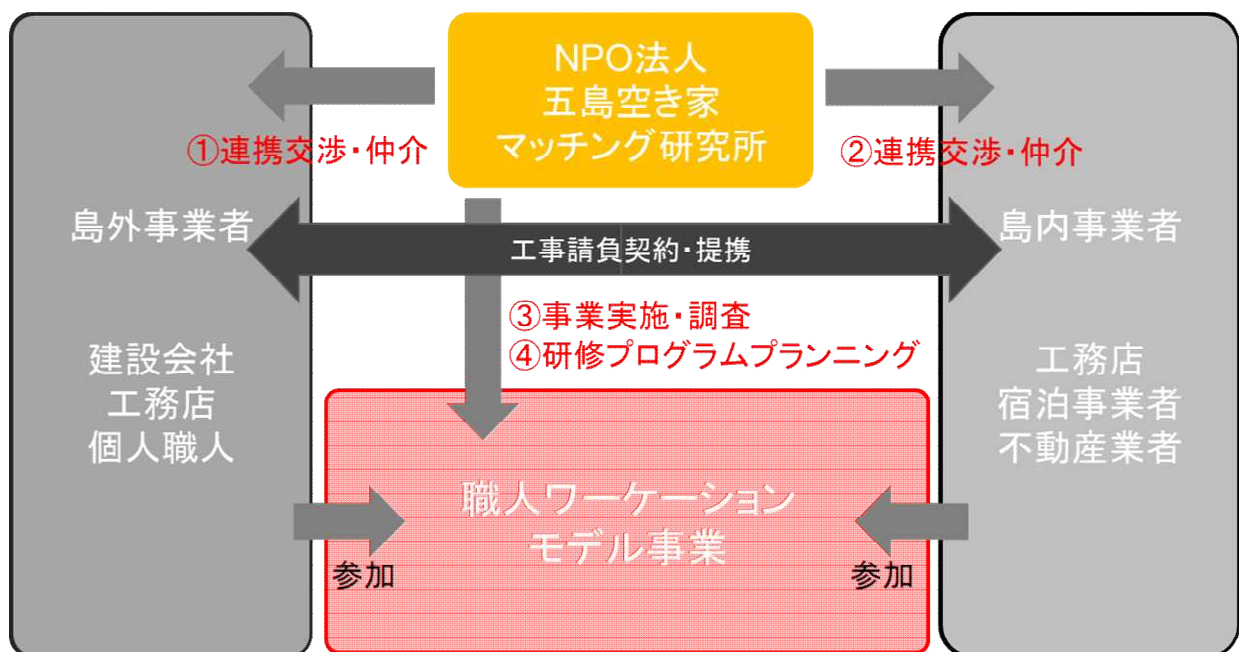


表2—1—1 取組の役割分担表

具体的な取組内容	担当組織（担当者別）の業務内容	担当組織（担当者）
職人向けワーケーションの連携候補となる島外事業者へのアプローチ	県内外の建設会社・工務店及び職人専門学校の洗い出し	五島空き家マッチング研究所
	各種イベントでの説明会の実施	五島空き家マッチング研究所 五島市、長崎県、九州工業大学
	県内外の建設会社・工務店及び職人専門学校との交渉・提携	五島空き家マッチング研究所
職人向けワーケーションの受け入れに関する島内調整	賃貸物件及び宿泊施設との交渉・提携	五島空き家マッチング研究所 五島市
	ワーケーションに対するサービス情報の整理及び提携島外事業者との共有	五島空き家マッチング研究所 五島市、長崎県
職人向けワーケーションモデル事業の実施	提携島外事業者へ工事発注・施工状況確認	五島空き家マッチング研究所 島内事業者
	提携島外事業者の滞在先の確保・滞在中のサポート	五島空き家マッチング研究所
	ワーケーション事業に参加の提携島外事業者へのヒアリング	五島空き家マッチング研究所 九州工業大学
職人向けワーケーション事業モデルを元にした職人研修プログラムのプランニング	ワーケーション事業に参加の島内事業者へのヒアリング	五島空き家マッチング研究所 九州工業大学
	ワーケーション事業実施記録報告書作成	五島空き家マッチング研究所 九州工業大学

表2—1—2 事業実施進捗状況表

事業項目	具体的な取組内容	令和4年度									
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
①職人向けワーケーションの連携候補となる島外事業者へのアプローチ	県内外の建設会社・工務店及び職人専門学校の洗い出し										
	各種イベントでの説明会の実施										
	県内外の建設会社・工務店及び職人専門学校との交渉・提携										
②職人向けワーケーションの受け入れに関する島内調整	賃貸物件及び宿泊施設との交渉・提携										
	ワーケーションに対するサービス情報の整理及び提携島外事業者へ工事発注・施工状況確認										
③職人向けワーケーションモデル事業の実施	提携島外事業者の滞在先の確保・滞在中のサポート										
	ワーケーション事業に参加の提携島外事業者へのヒアリング										
	ワーケーション事業に参加の島内事業者へのヒアリング										
④職人研修プログラムのプランニング	ワーケーション事業実施記録報告書作成										

## (2) 事業の取組詳細

### ①職人向けワーケーションの連携候補となる島外事業者へのアプローチ

- ・ 7—10月にかけて、島内の工務店や職人から、過去に五島での工事受発注取引実績がある島外工務店や、五島市ワーケーション事業関係者や当団体メンバーと交流がある島外工務店を中心に、事業者を洗い出しを行った。
- ・ イベントでの説明会開催を予定していたが、島外工務店からそれぞれ地元の事業者を紹介してもらう方がより効率的だと判断し、別業務での打合せの際、本事業の説明を補足する等して、周知を図ることに切り替えた。
- ・ また当初、関東地方の事業者に対してもアプローチをかける計画ではあったが、コロナ渦でもあり島外への移動もままならない状況と、現実的に工事案件の事前打ち合わせ等、時間的、金銭的にも相当のコストが嵩むことが予想され、本事業期間での工事契約締結は難しいと判断し、交渉対象を、九州、特に長崎県及び福岡県に絞って対応することにした。
- ・ 本事業モデルの発展形として、職人研修プログラムのプランニングについても検討しており、技術者養成機関の1つとして、長崎県立の技術専門校についても訪問しヒアリングを行うこととした。

図2-2-1 交渉スケジュール表

交渉スケジュール



### ②職人向けワーケーションの受け入れに関する島内調整

- ・ 島外事業者や職人らの滞在先等の手配は、五島市が他業種においてすでにワーケーション受け入れた実績があり、宿泊施設との連携やマップ等のツールが整備されており、その情報提供などの協力を仰ぐこととした(図2-2-2, 3参照)。
- ・ また当団体と交流がある、中長期滞在型宿泊施設の運営事業者へ本事業の説明及び交渉を行った。
- ・ 当団体メンバーの不動産会社や五島市の空き家バンクの物件情報、及び島外事業者滞在時に利用可能なサービス等の情報といった、当団体事業の利点を活かした情報提供を行える体制づくりに取り組むこととした。

図2-2-2 五島市ワーケーション募集ホームページ



五島市では、2018年から都市部在住のビジネスパーソン向けの「ワーケーション」を年数回開催している。さまざまな地域課題に対して、企業・行政・地域事業者が連携し継続的にコミットするきっかけを創出することを目的としている。

図2-2-3 五島市ワーケーションマップ



### ③職人向けワーケーションモデル事業の実施

- ・ 慢性化している大工不足に悩む島内事業者数社に対して、連携候補となる島外事業者を当団体が仲介する形で紹介を行った。その中から実際工事請負契約が合計5件(発注先は3社)まとまった。
- ・ 当団体は、受け入れの宿泊先の情報提供と調整、島内の電気設備・水道設備等の関連工事業者の紹介も行い、交流会を企画する等、工事現場以外でも島内外事業者の交流が図れる場づくりを行った(写真1, 2参照)。
- ・ 職人が来島しやすい環境づくりの足掛かりを得るため、上記に参加した職人を含み五島に来島している、来島経験がある島外職人に対してアンケート調査及び補足的なヒアリングを実施した。アンケートの内容については、普段(島外)と島内(五島)双方の仕事及び生活環境に関する満足度を仕事環境、職場風土、処遇、生活環境の面から質問を行った。

写真2-2-1 島外職人の島内現場での仕事風景



写真2-2-2 島内職人と島外職人の交流会風景



図2-2-4 アンケート調査用紙（表面）

## 島外現場職人の五島での仕事に対する満足度調査

日ごろより私ども NPO 法人及び大学の活動にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

現在、私どもでは、五島において喫緊の課題である「職人不足問題」の解決策の一つとして、島外の職人の方々に、五島に益々お越しいただき、ご活躍していただくことの可能性について検討しております。

つきましては、すでに仕事のために島外から五島へ来られた職人の皆さまに、五島での仕事に対する満足度について、普段（五島外）の仕事に対する満足度も合わせて、双方を比較しながらお答えいただければと思っております。なお、回答いただいた内容に関しましては、本調査の目的外での使用、第三者への提供などは一切ありませんのでご安心いただければ幸いです。

お忙しい中大変恐縮ですが、以下の調査にご協力いただきますようお願いいたします。

NPO 法人五島空き家マッチング研究所 副理事 神田 伸正 kanda.n@goto-active.com  
 国立大学法人九州工業大学大学院 准教授 徳田 光弘 tokuda@civil.kyutech.ac.jp

記入日	年 月 日
-----	-------

問1 ご自身のことについて教えてください。

年齢	<input type="checkbox"/> 20歳未満 <input type="checkbox"/> 20歳代 <input type="checkbox"/> 30歳代 <input type="checkbox"/> 40歳代 <input type="checkbox"/> 50歳代 <input type="checkbox"/> 60歳代 <input type="checkbox"/> 70歳代 <input type="checkbox"/> 80歳以上	性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	扶養家族の有無	<input type="checkbox"/> 有 → 大人( )名 <input type="checkbox"/> 無 子供( )名
普段の居住地	都道 市区 府県 町村	これまでの五島来島回数	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> ( )回	職人歴	<input type="checkbox"/> 一年未満 <input type="checkbox"/> 約 ( )年
労働形態	<input type="checkbox"/> 法人経営職人 <input type="checkbox"/> 社員職人 <input type="checkbox"/> 個人職人 <input type="checkbox"/> その他			普段業務での立場	<input type="checkbox"/> 親方職人（経験有） <input type="checkbox"/> 平職人（下請け含）
※今回の仕事での五島滞在期間	( )年( )月 ~ ( )年( )月 ( )日間 / ( )週間 / ( )ヶ月間			五島での業務立場	<input type="checkbox"/> 親方職人（経験有） <input type="checkbox"/> 平職人（下請け含）
普段の主な工事業務内容	<input type="checkbox"/> 土木一式 <input type="checkbox"/> 建築一式 <input type="checkbox"/> 大工 <input type="checkbox"/> 左官 <input type="checkbox"/> とび・土木 <input type="checkbox"/> 石 <input type="checkbox"/> 屋根 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 管 <input type="checkbox"/> タイル/煉瓦/ブロック <input type="checkbox"/> 鋼構造物 <input type="checkbox"/> 鉄筋 <input type="checkbox"/> 舗装 <input type="checkbox"/> 浚渫（しゅんせつ） <input type="checkbox"/> 板金 <input type="checkbox"/> ガラス <input type="checkbox"/> 塗装 <input type="checkbox"/> 防水 <input type="checkbox"/> 内装仕上げ <input type="checkbox"/> 機械器具設置 <input type="checkbox"/> 熱絶縁 <input type="checkbox"/> 電気通信 <input type="checkbox"/> 造園 <input type="checkbox"/> さく井 <input type="checkbox"/> 建具 <input type="checkbox"/> 水道施設 <input type="checkbox"/> 消防施設 <input type="checkbox"/> 清掃施設 <input type="checkbox"/> 解体				
今回の五島での工事業務内容	<input type="checkbox"/> 土木一式 <input type="checkbox"/> 建築一式 <input type="checkbox"/> 大工 <input type="checkbox"/> 左官 <input type="checkbox"/> とび・土木 <input type="checkbox"/> 石 <input type="checkbox"/> 屋根 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 管 <input type="checkbox"/> タイル/煉瓦/ブロック <input type="checkbox"/> 鋼構造物 <input type="checkbox"/> 鉄筋 <input type="checkbox"/> 舗装 <input type="checkbox"/> 浚渫（しゅんせつ） <input type="checkbox"/> 板金 <input type="checkbox"/> ガラス <input type="checkbox"/> 塗装 <input type="checkbox"/> 防水 <input type="checkbox"/> 内装仕上げ <input type="checkbox"/> 機械器具設置 <input type="checkbox"/> 熱絶縁 <input type="checkbox"/> 電気通信 <input type="checkbox"/> 造園 <input type="checkbox"/> さく井 <input type="checkbox"/> 建具 <input type="checkbox"/> 水道施設 <input type="checkbox"/> 消防施設 <input type="checkbox"/> 清掃施設 <input type="checkbox"/> 解体				

※ 上表内の「今回の仕事での五島滞在期間」は、期間を△年△月～△年△月で記載するとともに、△日間、△週間、△ヶ月間のいずれか表記しやすい方法で記入ください。

問2 五島で仕事をするようになったきっかけ、理由について該当するものすべてにチェックしてください。

<input type="checkbox"/> 会社の指示で	<input type="checkbox"/> 受注のタイミングが合った	<input type="checkbox"/> 五島に知り合いがいたから
<input type="checkbox"/> 五島に行きたかった	<input type="checkbox"/> 五島に興味があった	<input type="checkbox"/> たまたま仕事有五島だった
<input type="checkbox"/> 普段と違う環境で働きたかった <input type="checkbox"/> その他 ( )		

→裏面に続きます

図2-2-5 アンケート調査用紙（裏面）

問3 「普段（五島以外）の仕事」と「五島での仕事」それぞれの満足度 22 項目について、最も該当する点数に○をつけてください。 ※点数の目安→ 満足：+2 やや満足：+1 どちらとも言えない：0 やや不満：-1 不満：-2

番号	項目	普段（五島以外）の仕事					五島での仕事				
仕事満足度	1 自身に相応の仕事内容	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
	2 適度な仕事量	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
	3 知識・技術の向上	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
	4 資材・工具等の調達	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
	5 仕事現場との距離	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
	6 次あるいは別の仕事との調整	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
	7 仕事が途切れない等仕事の継続性	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
職場風土等満足度	8 職人との人間関係	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
	9 他現場関係者との人間関係	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
	10 現場の雰囲気	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
	11 安全安心な仕事環境	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
処遇満足度	12 現場のモラルやマナー	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
	13 自身に相応の報酬（給与）	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
生活満足度	14 自身の仕事への適切な評価	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
	15 適度な労働時間	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
	16 生活の利便性	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
	17 生活の快適性	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
	18 生活する中での居心地の良さ	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
	19 生活費の負担感	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
	20 余暇時間の過ごし方	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
21 家族との距離や時間	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2	
22 人との出会いや交流	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2	
総合満足度		+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2

問4 ご自身が仕事をする上で優先する(したい)項目を上表 1~22 から5つまで選んで記入ください。 → 

1位	2位	3位	4位	5位
----	----	----	----	----

問5 今後も五島で働きたいと思えますか？該当するもの一つにチェックしてください。  
ぜひ働きたい やや働きたい どちらとも言えない あまり働きたくない もう働きたくない

問6 今後も五島で働きたい、働きたくなると思う理由を上表 1~22 から5つまで選んで記入ください。 → 

1位	2位	3位	4位	5位
----	----	----	----	----

問7 今後も五島で(より)働きたいと思うための条件を上表 1~22 から5つまで選んで記入ください。 → 

1位	2位	3位	4位	5位
----	----	----	----	----

問8 五島で働いた上での感想や今後期待すること、必要だと思うことなどありましたら記入ください。

ご協力いただき誠にありがとうございました。

#### ④職人研修プログラムのプランニング

- ・ 次年度以降の発展を見据えて、③に加えて島内事業者や職人へのヒアリング、フィージビリティスタディを含めた職人研修プログラムのプランニング案を検討した。

### (3) 成果

#### ①職人向けワーケーションの連携候補となる島外事業者へのアプローチ

- ・ 35の島外事業者を洗い出し、実際実施可能性のある10社を対象を絞り交渉を行った。交渉先の内訳としては、長崎県内7社、福岡県内3社である。
- ・ またその内、長崎県2社、福岡県3社については、直接訪問し、交渉を行った。
- ・ 本事業モデルの発展形として、職人研修プログラムのプランニングについても検討しており、技術者養成機関の1つとして、県立の技術専門校についても訪問しヒアリングを行った。

図 2-3-1 視察及び交渉先について

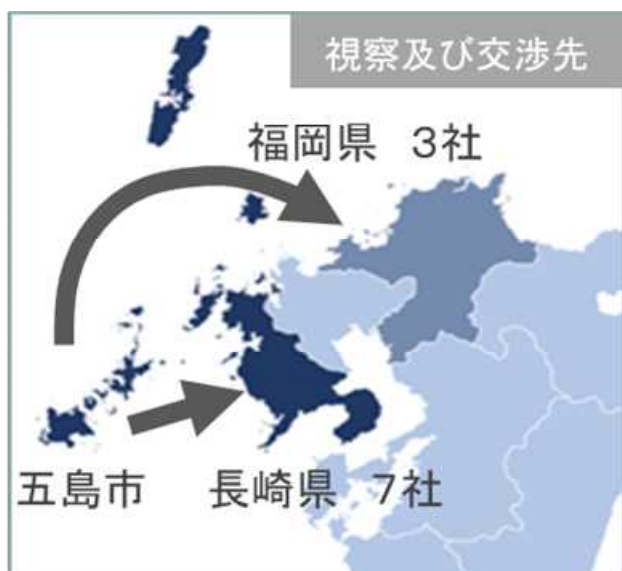


写真 2-3-1 視察及び交渉風景



#### ②職人向けワーケーションの受け入れに関する島内調整

- ・ 当団体と交流がある、中長期滞在型宿泊施設の運営事業者へ本事業説明を行い、優先的に宿泊予約ができ、島内での公共工事で宿泊してくる島外事業者を紹介してもらい、といった協力要請を行い、その了承を得ることもできた。
- ・ 当運営事業者の中には、現在2件の同様の宿泊施設を整備しているところもあり、今後、本事業を継続していく上で、重要なパートナーになりえそうである。



- また、当団体メンバーの不動産会社や五島市の空き家バンクの物件情報、及び島外事業者滞在時に利用可能なサービス等の情報といった、当団体事業の利点を活かした情報提供を行える体制づくりを整えた。

図 2-3-2 島内の情報提供体制図



③職人向けワーケーションモデル事業の実施

- アンケート調査結果として、アンケート回答者は計 66 名、内 18 名のヒアリング協力を得ることができた。回答者のほとんどは男性で、年代は 20 歳代から 50 歳代まで幅広い。併せて回答者の職人歴も問うたが、同じくばらつきが見られ、概ね年齢に準拠する結果となった。
- 回答者の島内での仕事の滞在期間は、1ヶ月以内が半数以上を占めるが、一方、半年以上も 1/3 ほど見られ短期と中長期に二分化している。なお、回答者の 2/3 以上は交通手段が比較して整っている長崎県内及び福岡県から来島している。
- 回答者の五島での主な工事業務内容は、土木一式工事、建築一式工事、大工工事、とび・土木工事が全体の 6 割を占めており、他解体工事、内装仕上げ等があげられる。

以下に、回答者の島内外における満足度 22 項目に関する結果を、ヒアリングによる補足も含めて示す(表2-3-4、5参照)。

- 仕事満足度について、7 項目中 6 項目が島内の方が劣位となった。唯一島内が優位となった「5.仕事現場との距離」は、五島の大体の現場が車で 10~30 分程度で行くことができることである。一方仕事満足度のうち最もマイ

表 2-3-1 アンケート回答者の年代及び性別

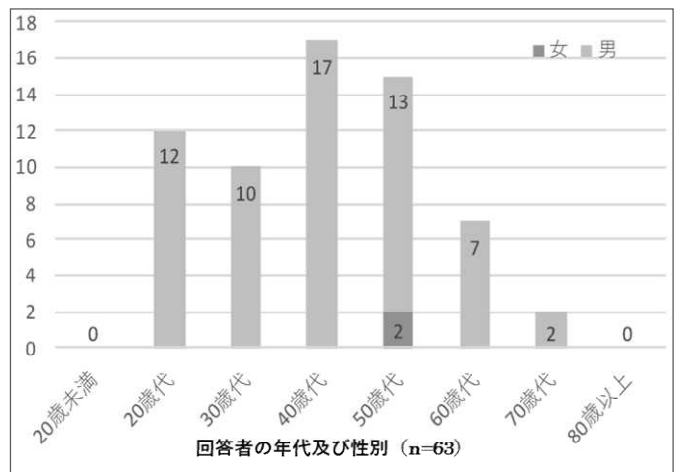
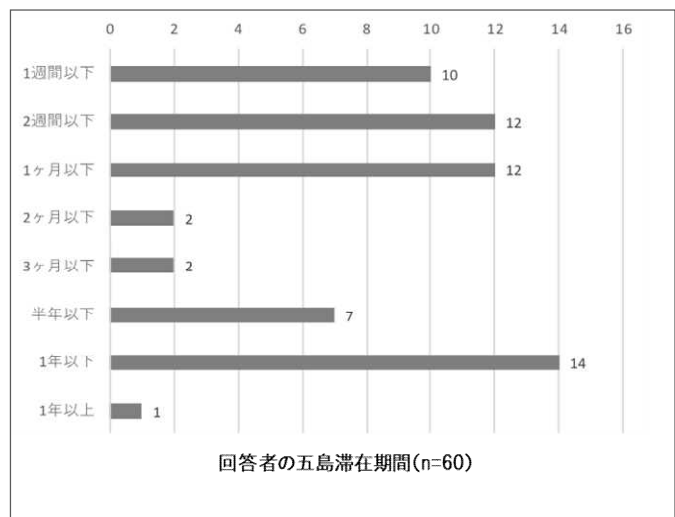


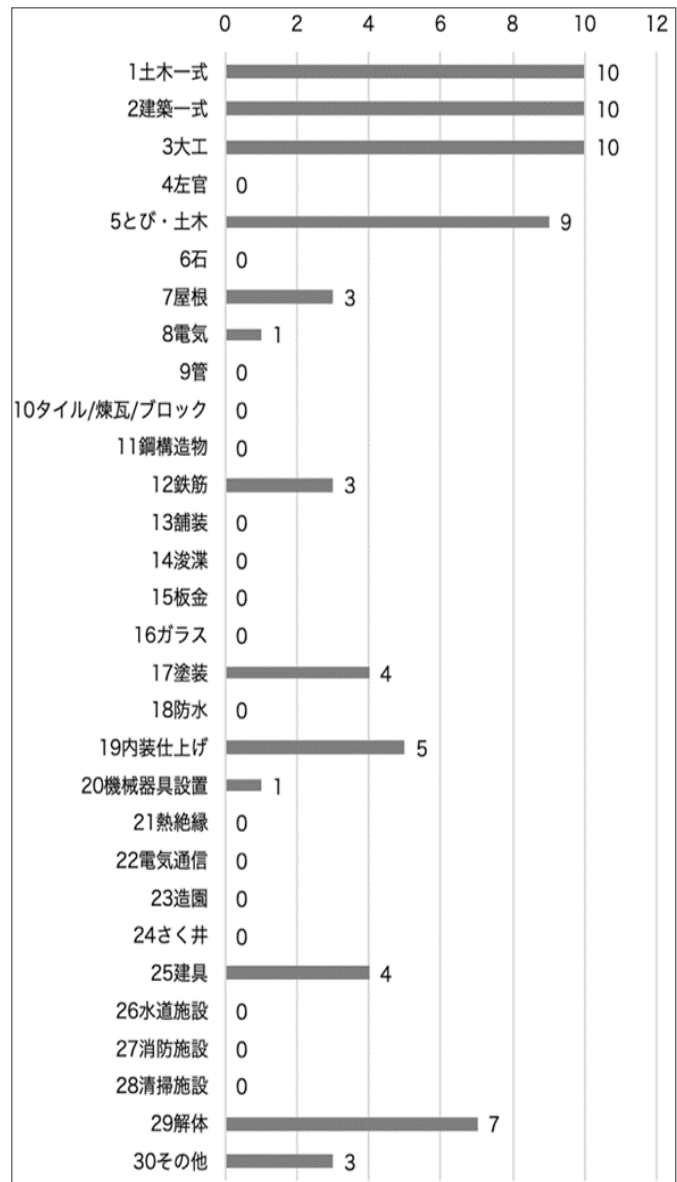
表 2-3-2 アンケート回答者の島内滞在期間



ナスの「4.資材・工具等の調達」については、島内に大型のホームセンターがなく、資材などが急に必要になったときに困るとのことであった。

- ・ 職場風土満足度について、やや島内が優位となっている項目が多いが、概ね島外と島内に大きな差はない。「8.職人との人間関係」「9.現場関係者との関係」「10.現場の雰囲気」が島内ではプラスで、長時間の仕事だけでなく生活も少人数で共にするため社内関係が良くなる、島内の施主の方が現場調整しやすいこと、地元業者との直接的な接触はないが他社同郷の職人同士で話が合う、といった声があった。ただし、「11.安心安全な仕事環境」「12.現場のモラルやマナー」は島内の方が劣位となった。大きな病院がないため、もしも事故が起きた時に心配する声や、現場で喫煙する職人が多いとの声があった。
- ・ 処遇満足度について、島内と島外に大きな差はない。「13.自身に相応の報酬」では出張手当のためやや割増になること、「15. 適度な労働時間」では島内の方が仕事時間の融通が効きやすい、都心に比べ朝夕の騒音に気を使わなくて良いなどの声があった。
- ・ 生活満足度について、全ての項目で島内の方がかなり劣位となった。「16.生活の利便性」では、仕事が終わってから営業している店舗が少ない、島外から来た就労者向けにまとまった情報(コンビニ・飲食店・救急病院・マッサージ等)があると便利といった声が得られた。

表 2-3-3  
アンケート回答者の五島内業務内容



他方、満足度 22 項目に対して、回答者が仕事上で優先するしたい上位 5 項目、五島で仕事をする上での条件の上位 5 項目を問うた結果を以下に示す(表2-3-6参照)。

- ・ 仕事上優先したい項目は、特に「8.職人との人間関係」「13.自身に相応の報酬」「10.現場の雰囲気」の回答が多く、報酬(給与)もさることながら職場環境や風土を重んじている傾向が読み取れた。
- ・ 五島で仕事をする上での条件は、特に「16.生活の利便性」「13. 自身に相応の報酬」「17.生活の快適性」「20.余暇時間の過ごし方」の回答が多く、ここで報酬(給与)は元より、生活面の充実を求めている傾向が読み取れた。他に、「7.仕事が途切れない等仕事の継続性」が最も大切との回答も一定数見られた。

表 2-3-4 アンケート回答者の島外と島内での仕事満足度

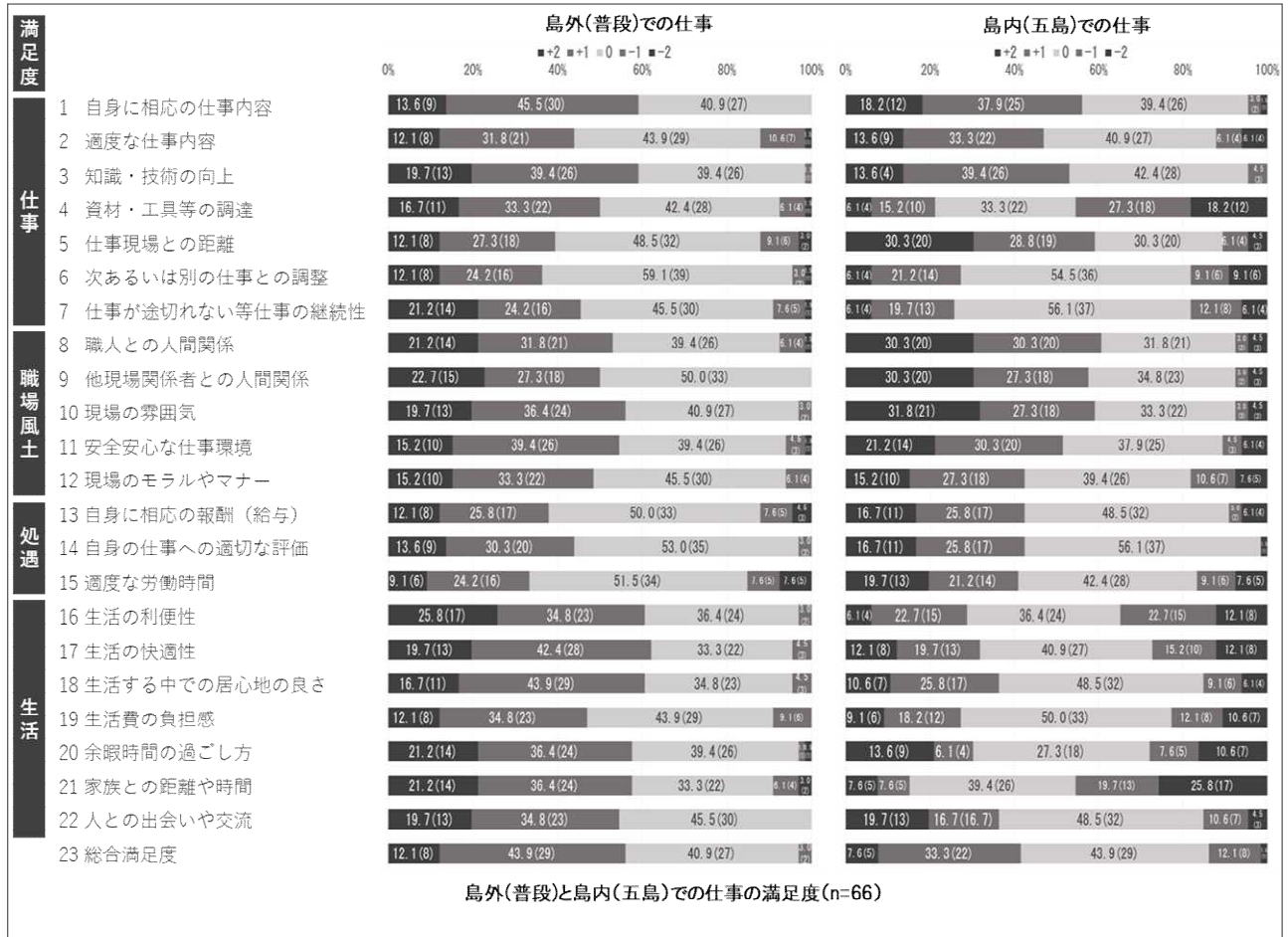


表 2-3-5 島外と島内の総合評価の差

島内(五島)の各項目満足度と「今後も五島で働きたいか」の回答を含めた相関と、島外(普段)と五島での満足度差分と「今後も五島で働きたいか」を含めた相関については以下の通り(表 2-3-7, 8参照)。

- 前者では、「9.他現場関係者との人間関係」が今後も五島で働きたいかどうかに関係が見られた。つまり、現場関係者との関係構築を促すことで、継続的に働きたいとの意志が高まる可能性がある。
- 後者では、総合的な満足度の差分と相関があるのは、生活の利便性、快適性、居心地の良さ、生活費の負担感など生活満足度に関する差分と職人との人間関係の満足度の差分である。

従って、まず持って現実的な改善として、行政等とも連携した生活利便施設やレジャー等の情報提供や各種支援、職人同士や現場関係者の

	島内	島外	総合評価	
仕事	1仕事内容	45	48	-3
	2仕事量	28	28	0
	3知識技術	41	51	-10
	4資材工具	-24	38	-62
	5現場距離	49	24	25
	6仕事調整	4	28	-24
	7継続性	5	37	-32
職場風土	8職人関係	52	43	9
	9現場関係者	50	48	2
	10現場雰囲気	52	48	4
	11安心安全	37	41	-4
	12モラル	21	38	-17
処遇	13給与	29	22	7
	14評価	37	36	1
	15労働時間	24	13	11
生活	16利便性	-8	55	-63
	17快適性	3	51	-48
	18居心地	17	48	-31
	19生活費	2	33	-31
	20余暇時間	10	49	-39
	21家族	-32	44	-76
	22交流	24	49	-25
23総合満足度	22	43	-21	

島外(普段)と島内(五島)の総合評価の差

交流の場を持つことが対策として考えられる。

表 2-3-6 工作上優先項目と島内での仕事をする上での条件との差異について

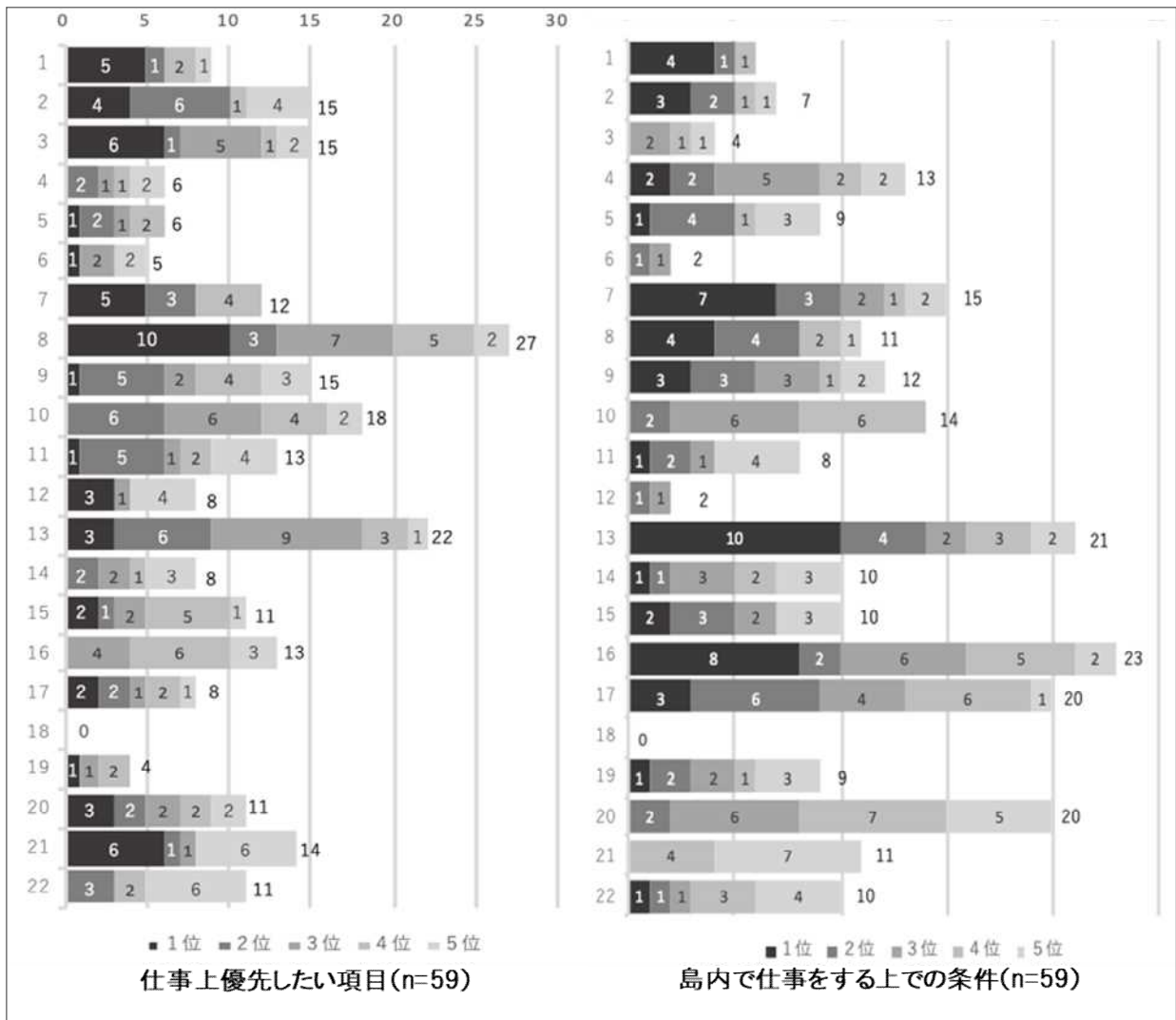
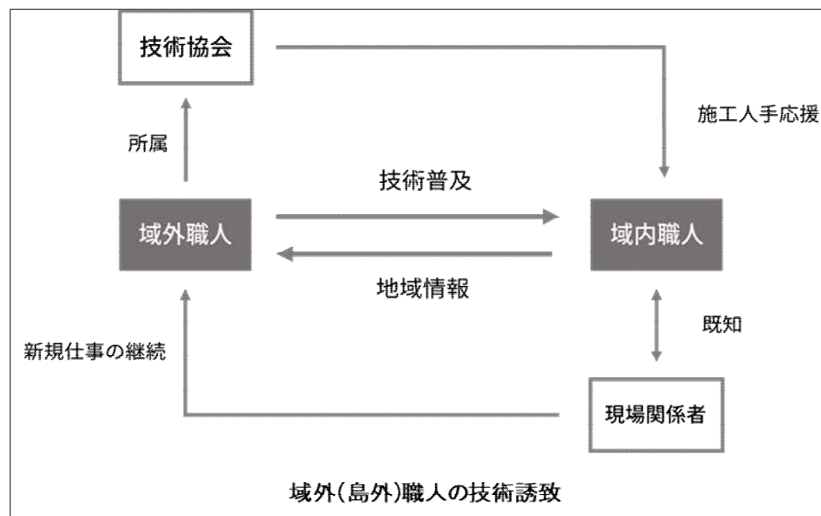




図 2-3-3 域外職人の技術誘致のイメージ



### 3. 評価と課題

#### ①職人向けワーケーションの連携候補となる島外事業者へのアプローチ

- ・ 今回訪問した島外事業者の交渉先全体を通して、島内での工事を請け負うということに対して、地元での現場との調整や、五島での工事の規模や経費等のハードルがあるという意見で一致していた。
- ・ 島内側での協力体制があれば、工事ができないことはないといった、本事業に前向きな姿勢があることが確認することができた。
- ・ 職人研修プログラムを検討する上で、長崎県立の技術専門校についてのヒアリング調査から、在校生には企業へのインターンシップは積極的に促しているとのことで、本取組での協力体制が構築できるか検討したいところであると感じた。
- ・ ただ現状としては、見学のみで工事を手伝うということはない。またインターン先企業の受入体制状況にも関わってくるとのことで、研修プログラムのプランニングに向けての課題を把握することができた。

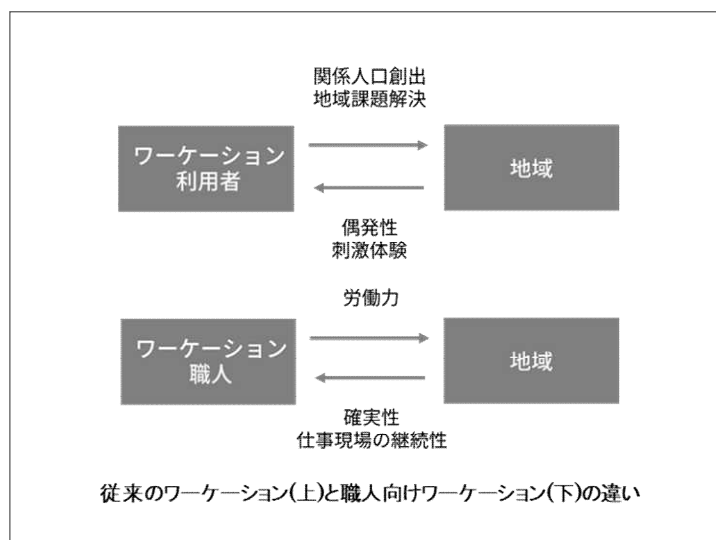
#### ②職人向けワーケーションの受け入れに関する島内調整

- ・ 島外事業者の滞在期間は、工事期間が1か月以上半年程度と長期間となるため、中長期滞在型宿泊施設、または賃貸物件の安定的な確保が求められる。
- ・ 新型コロナウイルス感染症流行以前の令和元年には年間25万人以上を達成した高い観光需要により、時期によっては宿泊施設や交通手段の予約が困難となる。域外(島外)建設業者労働者の滞在拠点の確保は観光客等と競合し、価格やプライバシー保護などの条件で不利益を被ることもある。
- ・ 賃貸物件により拠点を確保している域外(島外)事業者も、移住者増加による住宅需要の増加や競争生活におけるプライベートの損失により苦しい状況にある。
- ・ 域外(島外)職人に向けたハード拠点を整備することで、安定的に域外(島外)職人を良い条件で受け入れることができる。
- ・ 加えて、施設内での域外(島外)職人同士の接触によって、より地域に暮らしなれた域外職人が飲食や余暇活動等の生活情報を提供することで、まだ地域との関わりが浅い域外(島外)職人が地域を暮らしこなすことが可能となる。

### ③職人向けワーケーションモデル事業の実施

- ・ アンケート及びヒアリング調査を経て、従来のワーケーションと職人向けワーケーションにそもそも性質の違いを整理する。
- ・ IT 関連など場所や時間を選ばない仕事と親和性が高い従来のワーケーションは、場合により仕事の不確実性や金銭的負担を対価に、地域ならではのいわば非日常の生活体験という価値を得る。
- ・ 一方、職人向けワーケーションは、仕事の場所は建設現場に直結しており、現場で普段同様の日常の仕事を行うことを対価に、報酬(給与)という価値を得る。
- ・ よって、職人向けワーケーションでは日常の仕事の確実性や継続性が第一になり、職人向けワーケーションにおけるバケーションは、現時点の職人の仕事において内包されにくい。
- ・ すなわち、島外職人の島内への参入を促進させるためには、継続的な仕事(現場)の融通や、仕事の確実性を高める現場関係者との俗人的な関係づくりが優先される。生活面においても、日常生活としての安定性が求められるため、生活利便施設の充実や情報提供が求められる。いわゆるバケーション要素は、それらの充実や情報提供により、島内の仕事に高付加価値を付与する可能性はある。

表 3 - 1 従来ワーケーションと  
職人向けワーケーションとの比較



### ④職人研修プログラムのプランニング

- ・ この技術研修や職人交流を通じて、島内外の事業者の関係構築を促し、島内での新技術普及のみならず島外からの現場参入を図る。加えて、移住希望の新規就労職人の島内事業者への斡旋支援や研修サポートも、本事業で得られた島内事業者とのコネクションをもとに展開できる可能性を有すると考えられる。

## 4. 今後の展開

- ・ 次年度以降も引き続き本事業の取組については、継続していく計画である。今年度で得られた知見、課題を整理し、域外(島外)事業者、特に九州内でのネットワーク構築に努めていく。
- ・ また域外(島外)事業者の受入れ先となる宿泊施設や賃貸物件といった、ハード拠点の整備は必須で

あり、例えば、当団体が運営する空き家バンクの物件を今回関わりを作れた島外事業者が自身の滞在先として改修工事を行うなどして整備していく方法も可能性としては考えられる。

- ・ ハード拠点の整備、技術誘致などいずれの方法で域外(島外)職人を獲得する場合でも、常に域外(島外)職人に対して欲求や不測のフィードバックを行う必要がある。
- ・ 建設業労働者の直接の声なしでは地域や建設業の実態に即した労働力確保は不可能である。全国的な建設表労働者減少に伴い職人不足に陥る地域が各地に生じる可能性がある状況において、これらの方法が地域問題解決に汎用的に役立つこと、建設業の新たな働き方のモデルになるよう、引き続き本事業を継続していきたい。

■事業主体概要・担当者名			
設立時期	令和元年 12 月		
代表者名	吉田慎太郎		
連絡先担当者名	神田伸正		
連絡先	住所	〒853-0001	長崎県五島市栄町 4-11
	電話	0959-74-3292	
	メール	Kanda.n@goto-active.com	
ホームページ	<a href="https://gotoakiya.com/">https://gotoakiya.com/</a>		

※事業に関してご質問等がある場合は、上記連絡先にご連絡ください。